

よりこ
武藤頼胡の

人生の仕舞い方



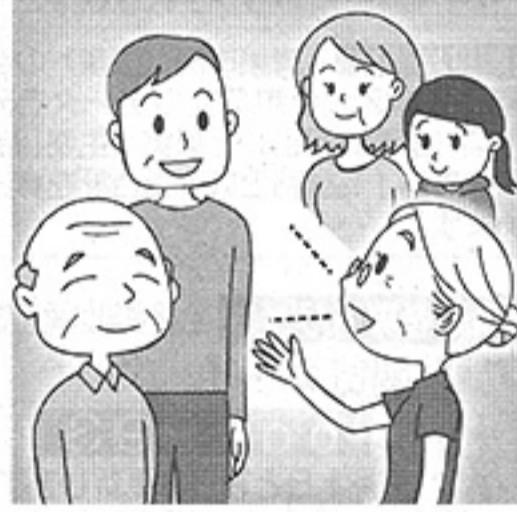
きょうはお彼岸明けです
が、お墓参りは行かれました
か？ 親族皆でご先祖を思
い、手を合わせる良い慣習、
ぜひ後世に遺（のこ）してい
きたいですね。

さて最近、タイトルのよう
な相談が増えました。まずは
その背景からお話し致しま
す。

2015年の国勢調査によ
ると、日本の人口は減ってい

成年後見人制度について

元気なうちに「任意後見」を



るのに世帯数は増えています。それは、核家族化が進んだということです。そして65歳以上の1人暮らしは約59万人もいらっしゃいました。そうなると1人で生きていくにはどうするか？ といふ不安も増え、それをカバーする成年後見人制度が注目を浴びるようになりました。し

定後見

任意後見は自分が元気な時

に、そこから先の人生をどこで誰と暮らしたいのか、どう

いう介護を受けたいのか、お金の使い道、一番には誰に託すのかを考え指定しておくも

かし、名前は聞いたことがあります。それは、核家族化が進んだということです。そして65歳以上の1人暮らしは約59万人もいらっしゃいました。これが現状だと思います。

この制度は2000年4月に他の制度に代わって施行さ

れました。簡単に言うと認知

症などで自己判断能力が不十分になった場合、その方を法律的に支援する制度です。後見人には「任意後見」と「法定後見」があります。

力が不十分な場合に、本人を法律的に保護し支えるためのもので、家庭裁判所に申し立てを行って家庭裁判所が後見人を決定します。

いかがですか。もし自分に何かあったとき、身内がおらずお金の出し入れや不動産管理などご心配な方は、この制度を知った今、元気なうちに任意後見で自分が信頼のおける方を指定するという方法が良いと思いませんか。

次回はこちらに付随する制度もご紹介します。

（終活カウンセラー協会代

表理事）

（次回は10月24日付）